

## 受賞の言葉

この度は、第 21 回日本計画行政学会計画賞において優秀賞という栄誉ある賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。

私たちの取り組みが高く評価されたことを、町民一同、心より嬉しく感じております。

かつて衰退の危機に直面していた宿場町が、今や年間 58 万人が訪れる賑わいを取り戻しました。

これは、行政が進めた古民家再生や「ゲートウェイ型」道の駅といった戦略的なハード整備という舞台の上で、住民や商店主、そして地元の高校や大学の学生たちが「自分事」として活動し、シームレスに連携した結果だと思えます。

私たちのまちづくりの根底には「頑張ればまちは変わる」という気概と、活動そのものを楽しむワクワク感があります。

ハード整備をきっかけに芽生えた住民一人ひとりの「やかげ愛」が、新しい挑戦を支える心の拠り所となりました。

今回の受賞は、矢掛町を愛し、共に汗を流してくれた全ての「まちづくりの応援団」の皆様の努力の賜物です。

合併 70 周年を迎え、これからも伝統を守りつつ、新たな風景をみんなで築き、「進化を続けて成長する」町づくりを続けてまいります。

最後になりましたが、日本計画行政学会審査員の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに対して感謝を申し上げますとともに、貴学会の今後益々のご発展をお祈り申し上げ、受賞の言葉とさせていただきます。